

# アーティクルマーケティング クイックガイド



“オンラインマーケティングを使いこなし、オンラインビジネスの収益と露出を最大にする方法”

## **利用規約**

発行者は本レポート作成にあたって正確かつ完全なものを目指しておりますが、急速に変化するインターネットの性質により、この内容の確実性を保証また明示することは、いかなる時もあります。

本文内では立証できる情報の提供に努めましたが、発行者は内容の誤り、省略、または誤った解釈へのいかなる責任も負いません。

特定の人や組織を軽んじる表現があったとしても、意図的ではありません。

実用的なアドバイスブックは、他のものと同様、収入の保証をするものではありません。

読者の方々には、個々の状況からご自身の判断に基づいて行動されるようお願いいたします。

この本は法律やビジネス、会計、金融に関するアドバイス用に書かれたものではありません。

読者の方々にはこれらの分野の専門サービスを求められますようお願いいたします。

読みやすくするために、本書を印刷することをお勧めします。

# 目次

アーティクルマーケティング入門

アーティクルに必要な四つのこと

アーティクル全体のアウトラインを作成する方法

あなたの創造力を生かせる五つの簡単な方法

アーティクルディレクトリに載せる前にしておくこと

アーティクルを読んでもらうには—最新の秘密情報

クリックしてもらえるリソースボックスを書く

アーティクルを書くのが苦手なら…

---

# **Quick & Easy Guide to Article Marketing**

---

# ア－ティクルマーケティング入門

サイトや商品を無料でプロモーションできる方法があるのをご存知ですか？

おまけに、この“無料”の方法を使うと売上げがアップし、収入が何倍にもなるのです。

アクセス数、収益ともに上げることのできる最も簡単なプロモーション方法の一つ、それがア－ティクルです。

どのように機能するのでしょうか？

あなたのサイトに関連したア－ティクルを書き、サブミッションサイトの“フリーコンテンツ”に投稿します。

簡単でしょう、これだけでサイトへのアクセス数や売上げはもちろん、収入も増えてくれるのです。

ア－ティクルを書くことで、なぜアクセス数や収入が増えるのでしょうか？

フリーコンテンツのア－ティクルにはサイトへのリンクが張ってあります。

ア－ティクルを読んだ読者のうち、そのリンクをクリックしてあなたのサイトを訪問してくれる人がいるかもしれません。

また、あなたのア－ティクルを他のウェブマスターのサイトに載せてもらうことも可能です。

そうすると、ア－ティクルにはサイトへのリンクが張ってありますから、そこでア－ティクルを読んだ人が、あなたのサイトに来てくれる可能性もあります。

ア－ティクルのリストが増えれば様々なサイトに載る機会が増え、結果としてサイトへのリンク数も膨らみます。

主要なサーチエンジンはこのサイトへのリンクに重点を置き、この数から重要なサイトを見極めていきます。

サイトへのリンクが多ければ多いほど、サーチエンジンはそれが重要なサイトなのだと認識します。

これが検索結果での配置に影響してくるのです。

あなたがサイトで商品やサービスをプロモーションしているのなら、アールティクルからリンクが張られることで、その分見込み客が増えてくるでしょう。

訪問者がブラウズするだけだとしても、将来あなたの商品が必要となる可能性は否定できません。

欲しいものが決まっているとしても、オンライン上にたくさん選択肢があって決めかねているという人もいます。

たまたまあなたのアールティクルに出くわし、コンテンツに興味を持ってあなたのサイトを訪問し、プロモーションに惹かれるということもあります。

とっても簡単なんです。

サーチエンジンはウェブサイトだけにではなく、アールティクルにもインデックスをかけます。

ですから、あなたのサイトのトピックに関して書かれたアールティクルもその対象となります。

同じトピックを検索する人がいれば、検索結果にはあなたのサイトや、あなたの書いたアールティクルが載るといふこともあるのです。

さらには、そうして自分のサイトを訪問してもらうために、あなた自身が努力する必要は全くないのです。

アールティクルとサーチエンジンが全てを行ってくれるからです。

自分たちのサイトに関するアーティクルを書こうと、多くのウェブマスターが時間をかけるようになったのも無理はありません。

アーティクルでリンクやアクセスが増え、訪問者がネット検索できるようになれば、そのサイトの認知度はますます高くなります。

現在、オンラインでの買い物を必須としている人はたくさんいますから、アーティクルを通してサーチエンジンにサイトを載せることは、彼らにあなたのビジネスを知らせるための大切な手段の一つと言えます。

アーティクルの良い点は、人々が知りたいと思われる内容を書けることです。

肩のこらない、しかし専門的な内容で、あまり見え透いていない宣伝も取り込みます。

考えてみると、アーティクルを一つ書いてフリーコンテンツのサイトに投稿するのは数分もあればできる作業です。

一方、数分という短い時間があれば、アーティクルが多くのサイトに行き渡るには十分で、その数はおそらくあなたが想像する以上にのぼるでしょう。

あなたが実態を把握しきれる前に、サイト訪問者の数がこれまでよりずっと増えるのです。

アーティクルを書くのが時間の無駄だと思うのなら、早送りしてアーティクルが発行され、ネットで広がっている状態を想像してみてください。

あなたのサイトや商品、サービスに人々が注目し、関心を向けるようになっていくのは間違いありません。

アーティクルをぜひ書いてみて下さい。

アクセス数やリンクポピュラリティがぐっとアップします。

それに合わせて収入もまたたく間に増えていくでしょう。

無料のものから利益を得られるほど良いことはありません。



## ア－ティクルに必要な四つのこと

ア－ティクルは、今日のウェブサイトやインターネットベースの企業になくてもはならないものとなっています。

自分が成功できるか否か、サイトへのアクセスの増減、これらはア－ティクルに影響されます。

今やア－ティクルは、サイトを運営し収益をもたらすための必須アイテムなのです。

サイト運営者やオーナーに求められるのは、いかに良質なア－ティクルをサイトに載せるか、そのセンスの良さと言えます。

ア－ティクルがアクセスを増やす原動力となっているのはご承知のとおりです。

自分のサイトが検索結果の上位にランクされるためには、ア－ティクルが重要な要素となっています。

サイトのランキングが上がれば、それだけ多くのアクセスが得られます。

収益も上がり、さらなる収入へつなげる計画も立てられるようになります。

しかし、これはサイトをア－ティクルだらけにするというわけではありません。

他にも必要な条件があり、それらを満たすことでア－ティクルは最大の利益を導き出せるのです。

上手に書かれたア－ティクルは顧客の注目と興味を引き、もっと見たいという要求を彼らに与えます。

彼らがさらに他の人にあなたのサイトを勧めてくれる可能性も出てきます。

上手なア－ティクルを作成するにはいくつかコツがあり、そのうち 4 つの必須

事項を以下に挙げています。

成功できるサイトを作って利益をもたらす、アクセス数をぐっと増やすための秘訣です。

## キーワード

常にキーワードを軸としてアートを書きましょう。

サイト訪問者の中には、ブラウズしながらも特定のものを探している場合があります。

こういう時にサーチエンジンに入力するのが、その特定のキーワード（「トヨタ・カムリ」、「髄膜炎」、「税務弁護士」といったもの）です。

彼らの欲しているどんなものでもキーワードになります。

重要なのは、あなたのサイトに関連するキーワードを含むアートを作成することです。

例えば、自動車部品を扱うサイトであれば、アートの内容は自動車や部品に関するものでなくてはなりません。

インターネット上にはたくさんのツールがあり、キーワードの決定を手助けしてくれるサービスを提供しています。

これらを使って、望ましいキーワードを選出することができます。

## キーワード出現率

キーワードが決まったら、今度はそれを十分に活用しましょう。

アートには、サーチエンジンがその存在を“感じる”ための良いキーワード出現率がとても大切です。

サーチエンジンで高いランキングに結果が載るためには、少なくとも10～15%

のキーワード出現率が必要です。

ランキングが高いということは、そのアティクルがサイトにベストに作用しているということです。

キーワード出現率というのは、あるキーワードがアティクルに使用されている回数の中で、これはアティクル全体の文字数によって異なります。

効果的なアティクルには、適切なパーセンテージのキーワードが必要です。

出現率が高くても内容が希薄であれば、読者の興味も失われ、サーチエンジンにも見放されてしまいます。

売り込みばかりが目立つのも良くありません。

逆に、出現率があまり低くても、今度はサーチエンジンに引かからなくなってしまう。

## 優れたコンテンツ

上記でお話したように、アティクルをキーワードだらけにすればよいというものではありません。

読み物として優れていると見なされる内容にしましょう。

アティクルは楽しいだけでなく、すばらしい情報を与え、ニーズに応えるものでなくてはなりません。

誤字脱字がなく、正しい文法で書かれているかも重要です。

読者の信頼を得るためにも、内容のよく練られた、きちんとした作品を仕上げましょう。

人は数字や事実、統計の載っているものに好反応を示すものです。

出来る限り上質な情報、多くの事実を取り上げる努力をしましょう。

優れたアーティクルを仕上げれば、その分野のエキスパートとしてあなたの評判も上がります。

アーティクルでたくさんの方の信用が得られれば、あなたやあなたの商品の信頼度もアップします。

## アーティクルのリンク

忘れてはならない大切なことがもう一つ。

アーティクルをメールマガジンやニュースレター、他のサイトに掲載しようとしているなら、忘れてならないのがサイトへのリンクを張ることです。

サイトのことを簡単に記したリソースボックスをアーティクルの最後に必ず載せましょう。

アーティクルを気に入ってもらえれば、そのリンクをクリックしてくれる可能性もぐっと高いものになります。

# アーティクル全体のアウトラインを 作成する方法

書くという行為は、中学から高校に至るまで誰もがやらされてきたことです。

大学では論文も書いたでしょう。

しかしどれだけこなしてきても、ア

ーティクルを書くのは避けて通りたい仕事だという人は多いでしょう。

ア

ーティクルがマーケティングの助けとなっている現在、敬遠しがちなこのライティングという仕事に我々は直面しなくてはなりません。

ア

ーティクルを書くことに対してそれほど苦手意識のない人もたくさんいますが、中には、そんな事をするくらいなら熱い石炭の上を歩くほうがましだという人もいます。

何が違うのか、それは、ア

ーティクルを書く際の方法や手順を知っているかどうかです。

ア

ーティクルに書く段階になったら、まず最初にするのはアウトラインの作成です。

ア

ウトラインを作成することで、頭の中の整理ができます。

プ

ランを順序立てて組み立てていけば仕事もやりやすく、早くこなすことができます。

方

向を見失うようなこともなくなるでしょう。

ア

ウトラインを作成することは、アーティクルをデザインし、青写真を作るようなものです。

文章全体を組み立てる助けにもなります。

あなたが感じたことを盛り込めば、それがアーティクル全体の中で映えてきます。

読者にとって創造的で面白い、魅力的な内容になってくるでしょう。

じっくりとプランを立てて準備を怠らなければ、大きな苦労や心配もなく、順調に進んでいけるはずです。

アウトラインを最初に作成しておけば、アーティクルを書くのも難しくはありません。

ここで、アウトラインを作成するためのコツをお教えしましょう。

まずは思いつくままにいくつかアイデアを出し、良さそうなものから書き留めていきます。

読者の関心を引きつけるにはどうしたらよいかを考えます。

アーティクルに費やせる時間に制限を設け、その時までにはあらゆる下調べや情報探しができているようにしましょう。

そのトピックに精通するまで、書き留めたアイデアを繰り返し読み直します。

こうすることで次にアーティクルを書くのが楽になります。

次のステップは、サブトピックとサブタイトルを見つけ出すことです。

アーティクルの最初の一文で読者を即座に引きつけるためには、サブトピックも必要になります。

アーティクルの要点となる、あらゆる事実を集めましょう。

アーティクルの骨組みとなるものがこれでできますから、次は肉、すべての段落とサブトピックを結びつけていきます。

それぞれの段落につながる序章があれば、当然結びも必要になります。

結論ではポイントを要約し、アーティクルで言わんとしていることをたたき込みます。

アウトラインを書くには下書きが必要です。

根気のいる作業ですが、これには大切な目的があるのを忘れないで下さい。

下書きを書くことでアウトラインはより磨きがかかります。

また、これはあなた以外の人は見ないものですから、恥ずかしく感じたりすることも無いのです。

書き進めていけば、全体の絵がはっきり見えてきます。

需要にパーフェクトに見合ったアーティクルを仕上げるができるでしょう。

書いた内容は何度も読み直して下さい。

常にアウトラインを参照することで、初めに書いた内容から逸れていくことはありません。

アウトラインは、書いている内容を見失わないための助けになります。

アウトラインに費やされた時間は決して無駄ではありません。

アーティクルを書く際に必ず役立つはずですから、ぜひ信頼してアウトラインを書いてみて下さい。

# **あなたの創造力を生かせる**

## **五つの簡単な方法**

アーティクルを書くというのは、単に考えを文字にして書き留めることではありません。

読者の関心を引きつけ、読み進めてもらわなくてはならないのです。

あなたメッセージを送るにはまず、読者の注意と関心に向け、好奇心をそそられる内容である必要があります。

そのために大切なのは、何と言っても創造力です。

創造性は誰にでもあるものですが、行き詰まるとおかしくなってしまう人もいます。

ライターの多くは行き詰まると文字通り頭をかきむしり、それ以上創造力をめぐらせることができなくなってしまうと言います。

言葉を使って読者の心にイメージを作り出すのは、芸術的ともいえる手腕が必要です。

はっきりと分かりやすい描写には、創造性に頼る部分が大きいのです。

直喩や隠喩を使うのも良いでしょう、しかし言葉と言葉、文と文、そして段落と段落の組み合わせを上手に工夫することでアーティクル全体をずっと良いものにすることができます。

何も思い浮かばなかったら、どうしたらいいのでしょうか？

パーフェクトなアイデアを得るための必勝法はありませんが、創造力を働かせられるようになるための簡単な方法があります。



あなたが完璧なマインドを持っているとは誰にも保証はできませんが、その状態に近づく助けとなる方法はたくさんあります。

簡単な方法を五つご紹介しましょう。

### 1) 日記を毎日つける。

見たり聞いたり、においをかいだり、どんなことでもアイデアの引き金となるのです。

感覚は、すばらしい考えを見つけるためのレーダー（探知機）です。

あらゆることを日記に書き留め、将来参考とするために残しておいて下さい。

他にも読んだものや聞いたこと、誰かのアイデアなども、自身のアイデアを発展させる助けとなるでしょう。

これは盗作にはなりません。

アイデアや創造性はどんな所からでもわいてきます。

それを発展させ、あなた独自のものにします。

### 2) リラックスし、時間をかけて心の中を整理する。

混乱した思考力では、新しいアイデアが浮かぶスペースもできません。

全速力で創造性を働かせたいのなら、誰しもクリアな思考力が必要です。

創造性を邪魔するようなものは取り除いて下さい。

頭を悩ませるものがあると、集中することができないものです。

経験したこと、他人とやりとりしたことを考える時は、常にリラックスしているようにしましょう。

経験によってあなたのものの見方や考え方が形成され、それは書くことに反映されてきます。

自分を発見する努力をしましょう。

どんなことであなたの心が動かされるのか、自分自身を研究するのです。

どんなことに感激するのか、あるいは腹が立つのか、こういった感情は自分自身やアイデアを表現するのに役立ち、創造性を育てることができます。

### 3) 創造力がわいてくるような環境を作る。

幸せを感じたりリラックスすることができないのなら、職場環境が妨害になっているということもあります。

創造力は心が良い状態にある時にわいてきます。

集中できない乱雑とした場所では、あなたの創造性も働きません。

幸せを感じられるもの、リラックスできるもので職場を取り囲んでみましょう。

写真を飾ったり、香りのあるものを置いたり、創造性が働くようなものを何でも置いてみましょう。

清潔で片付いた場所だと集中することができます。

すっきりとした環境で集中できれば、時間の経過も忘れてしまうでしょう。

### 4) ムードを作る。

ムードを作るには、思考力がベストに働く感情に引き込まれる必要があります。

どんなことでその感情に入れるのか、それを知ることが創造力を発揮できる助けとなるでしょう。

ムードに一定のリズムができれば、あらゆることがそれに続いてくれます。

ムードを作る方法はたくさんあります。

ライターの中には、頭と心を創造力で満たすためにワインを一口飲むという人もいます。

ムードを高める音楽を流したり、照明や環境を工夫する人もいます。

#### 5) いつもと違うことをやってみる。

思うままに楽しむことで、創造力がワイルドになるアドレナリンが作り出されます。

冒険してみましよう。

いつもと違うことを経験することで、マンネリな日常から抜け出すことができます。

創造力がまたたく間に働き出すでしょう。

# アーティクルディレクトリに載せる前に しておくこと

ライターもそうでない人も、自分のライティング力を見つめ直す時が今まさに来ています。

現代の通信技術のおかげで、情報ベースのマーケティングが人気を高めています。

非常に優れた、効果的なテクニックの一つであり、ターゲットの絞られた見込み客がサイトを訪問し、顧客となってくれます。

これはアーティクルがポピュラーになっている理由でもあります。

より簡単にアーティクルを配布するためのツールはすでにたくさんあります。

コンテンツをより世間の目にさらすために貴重なものですが、それだけでは実は目的の半分しか達成できていません。

最初に、アーティクルディレクトリにコンテンツを投稿する前にやってしまいがちな、一般的なミスを見てみましょう。

## 1. アーティクルを書く理由とプロモーションする理由を混同している。

アーティクルを書く上で、それをプロモーションするメリットは三つあります；ブランディング、リードジェネレーション、そして宣伝です。

これらは、アーティクルを最大限に生かすために行うことです。

しかし、アーティクルを書く目的はたった一つ、読者に情報を与えることです。

もしこの一番重要な目的に焦点を合わせられないと、誰にも読んでもらえず、

上記の三つのメリットは生かせないでしょう。

まずは、どうすればアートを読んでもらい、リソースボックスをクリックしてもらうかを明らかにしましょう。

このためには、より良いコンテンツでアートを仕上げるのが大切です。

## 2. アートマーケティングのプロモーションが生かされていない。

アートによってサイトへのリンクを増やすことができるのは既にご承知のとおりです。

しかし、同じアートでもっと多くの訪問者を獲得し、もっと良いサーチエンジンの結果も出せるのです。

戦略的な位置にキーワードを盛り込みます。

これは決してやりすぎはいけません。

アンカーテキストを使用する人もいます。

これも有効な手段ではありますが、ほとんどのディレクトリはこれをサポートできないのを覚えておいて下さい。

アートはサイトへのリンクのためだけに機能しているわけではありません。

アートマーケティングでうまくいっているということは、数多くの読者を持つ発行者の目にも留まり、他のブランドへの影響力も持っていることも意味しています。

サーチエンジンの結果が良ければ、それも大きな利益につながるでしょう。

しかし、上記のことだけでは十分な収益は得られません。

さらに収益を上げるためには他にも要因があります。

サイト訪問者の数を増やすだけでは足りないのです。

計画的にスタートし、アークティクルがきちんとその機能を満たすよう目を向けましょう。

### 3. コンテンツが読者の役に立っていない。

アークティクルを書く過程で、きっとあなたは、希望したアークティクルはみな自分のサイトにリンクし、そこから来た訪問者は良質だと思うでしょう。

聞いて下さい、全てのアークティクルディレクターがコンテンツを機械的に受け入れてくれるわけではありません。

受け入れるアークティクルに一定のガイドラインや規定を設けているところがほとんどです。

ディレクター側が共有したいアークティクルを書くことによって、載せるサイトの数を倍にすることができます。

一夜にしてポテンシャルの高い読者を増やしてくれるのは、実は数え切れないほどの読者を抱えた一人の発行者なのです。

アークティクルマーケティングをもっと効果的に運営したいのなら、発行者が望むようなアークティクルを書きましょう。

このためには、標準のガイドラインに従い、誤字脱字をなくし、良いトピックについて研究し、さらに必要ならあなたに代わってライターを雇うことも厭ってはなりません。

結局、全てはあなたのチョイスによって左右されるのです。

基本的なレベルで、徐々にリンクが増えていくようにアークティクルの露出を控えめにスタートしても良いでしょう。

あるいは、多少時間がかかっても上質のコンテンツを作り、露出を最大にすることに重点を置いても良いのです。

あなた次第です。

ディレクトリに投稿されたアートの露出が、少数の専門的な、非常にターゲットの絞られたコンテンツのアートと同じレベルでないことにまだ気づいていないのかもしれませんが。

これら二つの違いを学べば、どんなアートを書いていけばよいかははっきりと分かってくるでしょう。

# アーティクルを読んでもらうには一 最新の秘密情報

アーティクルを書くことをひどく心配する人はたくさんいます。

大変な労力がかかるし、読者がいなければ時間の無駄になるだけだと感じてしまうのでしょうか。

一方、つまらなくて刺激のないアーティクルを読むのは労働のように感じるという人もいます。

さて、アーティクルは読まれるべきものであり、目的はあなたのメッセージや情報を伝えることです。

読まれないものであるなら、それは時間と努力の浪費でしかありません。

しかしそうだとした場合、アーティクルは読んでもらうために書かれなくてはなりません。

書く内容を良くすればよいのです。

良いアーティクルを書くために力をふりしぼる必要はありません。

知っておくべき事、従うべき事がいくつかあるだけです。

いったんそれを習得してしまえば、アーティクルを書くのが面白くなり、同時にサイトにも利益をもたらしてくれるでしょう。

あなたがサイトをお持ちなら、おそらくそのサイトのトピックやテーマに関する分野の知識は十分にあるでしょう。

当然、アーティクルの内容もあなたがよく知っている分野でなくてはなりません。



既によく知っている事なら、書くのに苦勞することはないはずでず。

問題は、内容をいかに創造的で面白いものに仕上げるかということです。

あなたのアールティクルを楽しんで読んでもらうために、六つの**最新**のコツを挙げてみましょう。

読みやすくて面白いアールティクルを書くことができるようになるはずでず。

### 1) 段落は短くする。

段落があまりに長いと、読者は混乱してしまいます。

読み続けるのが困難になってしまうのです。

読者はこのアールティクルを見放して、もっと見た目の良い、読みやすいものへと移ってしまいます。

段落というのは一文、時には一単語でも成り立つものなのです。

### 2) 中点を利用する。

それぞれの要点が強調されているとき、番号や箇条書きの中点を使うと頭に入りやすく、また整理しやすくなります。

ポイントやコツ、ガイドなどはこの中点で始めると、読者はどこでそれが始まり、重点が置かれているのかが分かります。

番号や点はインデントで一段下げて始めると、目に留まりやすくなります。

ちょっとした工夫で読みやすいアールティクルができ上がるのです。

### 3) ページ内の段落分けにはサブ見出しを使う。

これを行うと個々の構成はくずれてしまいますが、全体の内容としては変わ

りません。

読者にとっても、ポイントごとに読み進める方が分かりやすいでしょう。

文章を読み進めるのはスムーズに、かつ簡単でなくてはなりません。

重点を置いている箇所へ必ず注意を向かせるようにしましょう。

#### 4) 注目を集めるタイトルやヘッダーを用いる。

タイトルが読者を誘惑することができれば、アートを読ませる目的の半分は突破しています。

人々が探しているキーワードを用い、話しかけたり質問をするような文章を作ります。

タイトルやヘッダーでアートの内容を説明しますが、短くて、簡潔なものにしましょう。

例えばこんなタイトルはどうでしょう；“彼女にもっとあなたを求めさせる秘訣” “彼女を夢中にさせるには”。

命令するような口調のタイトル、例えば“六つの簡単な手段で彼女をものにしよう” というのもよいでしょう。

こういったタイプのタイトルは人の感情に働きかけ、興味をそそります。

#### 5) 始めから終わりまで関心を逸らさない。

冒頭部分から、読者が取り入れられるような実際の状況を盛り込みます。

ポイントに導いていけるような記述や比喩を工夫して下さい。

やりすぎはいけません。

分かりやすい比喩を使って例を挙げ、その内容がイメージしやすいように、

読者の心が動くようなものにしましょう。

6) 必要に応じて数字を盛り込む。

具体的な事実や数字を用いると、知識豊かな信頼度の高いア－ティクルになります。

しかし、あまりフォーマルだと印象的でなくなってしまいます。

勉強熱心な生徒と談話するフレンドリーな先生になったつもりで書いてみましょう。

## クリックしてもらえるリソースボックスを書く

インターネットは情報ハイウェイである、このフレーズは至る所で使用され、インターネット格言賞にノミネートされてもいいくらいです。

インターネットを利用する人の目的はいくつかに分かれますが、大抵は情報を探しています。

その目的がゲームやビジネス、楽しみなど何であれ、インターネットは私たちに情報を与え、非常に有益なものとなっています。

今日に至るまで、多くの人々がサーチエンジン最適化について学んできました。

アーティクルがアクセスに効果を与えるという事実を知ったサイトの数は増え続けています。

アーティクルの提供だけに専念しているという人もいるくらいです。

サイト訪問者がそれを読めば、同じトピックや主題に関連したその他多くのサイトにリンクを張ってもらえるからです。

例えば、あらゆるジャンルに関する数多くのアーティクルを特徴としたサイトがあるとしましょう。

サイト訪問者は探していたアーティクルを読み、その終わりの部分にリソースボックスを見つけることができます。

ここからアーティクルを提供したサイトにリンクすることができるのです。

アーティクルの内容は当然サイトと関連しています。

アーティクルがタイヤに関する内容で、リソースボックスがそのタイヤや車の部品を販売するサイトへ導く、といった具合です。

リソースボックスとは、通常アートの終わりに見られるものです。

著者の名前、著者やスポンサーサイトについての簡単な記述、そしてリンク先が載っています。

読者がアートの内容を気に入れば、より多くの情報を読むために、どこから来たアートなのかを知りたくなります。

リソースボックスがアートの発信源へリンクすることで、読者を興味あるトピックのサイトに誘い出し、そこでより多くの情報を与えることができるのです。

しかし、リソースボックスもアートそのものと同じように、読者の注意や関心を引くものでなくてはなりません。

リソースボックスのスペースは小さいですが、適切なキーワードと内容で載せることで、十分に読者をサイトに導けるものになります。

さて、リソースボックスについてはお分かりになりましたね。

では、このリソースボックスのメリットとは一体何でしょうか？

**あなたのサイトへアクセスを導いてくれます。**

アートを置いてくれるサイトはたくさんあります。

アートを載せることでページを満たすことができるからです。

彼らは利益になりそうな他のサイトとも提携します。

スポンサーサイト側からすれば、あなたのリソースボックスがクリックされることで見込み客のアクセスを増やすことができるわけです。

では、リソースボックスに適したコンテンツとは何でしょうか？

基本的には、それはキーワードです。

検索によく使われる適切なキーワードを研究しましょう。

キーワードの選出の助けになるツールはインターネットでたくさん見つけられます。

リソースボックスには創造力を最大限に働かせます。

この小さなスペースをできる限り活用しましょう。

視線を向けてもらえるようなコンテンツにします。

テレビ広告と違って視覚材料はありませんが、代わりに読者の想像力があります。

適切なコンテンツとは、読者に考えさせたり興味を持たせたりすることができるコンテンツです。

もう一つのコツは、サイトに関連するキーワードを使用することです。

見込み客を間違った方向に導かないようにしましょう。

信頼を築けば、それだけ多くの人があなただのサイトに来てくれます。

そして、どんなものをオファーしているのか見てくれるでしょう。

印象の残るコンテンツを書いてリソースボックスをクリックさせましょう。

彼らをその気にさせるチャンスは一度だけです。

**リソースボックスを見くびってはなりません。**

サイズは小さいかもしれませんが、サイトへのアクセスを導くという重要な役割を担っています。

魅力のないリソースボックスでは、収益につなげることはできません。

創造力を働かせ、サイトに行けばオファーするものがたくさんあることを伝えます。

入れたい内容が多すぎてサイズに見合わなくなりそうですか？

そうですね、上手に行う秘訣はたくさんありますが、まず第一歩は、このリソースボックスがいかに重要なものかに気付くことです。

## ア－ティクルを書くのが苦手なら…

インターネットベースのビジネスやサイトを運営していくには、ア－ティクルが必要です。

サイトを持っている方は誰でもご存知ですね。

サイトを持っていなくても、頻繁にインターネットを利用している人なら知っているでしょう。

ア－ティクルは、情報や知識を得たいという欲求を満たしてくれる上、サイトにもたくさんの利益をもたらしてくれます。

その利益とは、キーワードの検索結果の上位にランク付けることです。

サイトが評価され、たくさんのリンクが貼られれば、訪問者にとってますます魅力的なものになるでしょう。

ア－ティクルによって、顧客の信用レベルがアップし、運営者の自信にもつながります。

また、運営会社やアクセスにも大変有益です。

読者がそのア－ティクルを気に入れば、友人や家族などにそのサイトを薦めてくれます。

こうすることで、さらなるアクセスが生み出されるのです。

あなたへの信頼度がアップすれば、商品やサービスの売上げアップにもつながります。

さて、ア－ティクルがサイトやビジネスに非常に重要なものであることはお分かりになりましたね。



マーケティングの先端に行くには、アーティクルはなくてはならないものです。

もっとも、ここにはあるジレンマがあって、それは、アーティクルを書くのが得意な人はそう多くないということです。

多くのサイト運営者にとって、アーティクルを書く時間があったら他の事に費やしたいのではないのでしょうか。

大企業でなければ、ライターもそう雇うことはできません。

他のアーティクルの盗作やコピーは好ましくありませんし、トラブルに巻き込まれかねません。

拘留され、重い罰金を支払うという最悪の事態も否定できないのです。

では、他に選択肢はあるのでしょうか？

アーティクルを書くのが苦手な、ライターを雇うのも難しいなら、フリーアーティクルを手に入れてみましょう。

まずはパブリックドメインを探してみます。

盗作で捕まったり、著作権侵害でトラブルに巻き込まれるという心配はありません。

パブリックドメインアーティクルは、公共に使えるように提供されているアーティクルです。

自分のサイトに載せることもできるし、自分の名前を著者名としても、ニューズレターに載せてもかまいません。

忘れてならないのは、サイトに関連のある内容のアーティクルを選ぶということです。

パブリックドメインアーティクルのデメリットは、誰にでも無料なので競争相手が増える可能性があることです。

それぞれのサイトがオリジナルで独自性のあるものにしなければなりませんから、困難な状況になるかもしれません。

また、より良いものにするためにキーワードを増やすなど、多少の編集が必要となるでしょう。

フリーアートを獲得するもう一つの方法は、同じトピックで運営している別の人にアートを載せてもらうことです。

これは、あなたの既存のコンテンツを膨らませるだけかもしれませんが、そのアートから他のサイトへのリンクを促してしまうかもしれません。

アートにはリソースボックスがあり、読者はアート投稿者のサイトにアクセスできるからです。

あなた自身のアートを持つのが大切なのはこういった理由からです。

**コツ**：アートがもたらすインパクトを真に感じたいのであれば、オリジナルのアートを作成することです。

ライターの中にはパートタイムで働く人もたくさんいますから、上手に選べば出費も抑えられるでしょう。

ライターに頼めば、求められているあらゆるキーワードを使った素晴らしいアートが仕上がります。

アートはあらゆる利益につながりますから、それだけの投資価値があります。

アートの著作権を保てば、いかようにも利用することができるのです。

アートによって、あなたのビジネスやサイトが確立されてきます。

あなたにはさらに多くのアートが必要となり、やがてアートはあなたのビジネスになくてはならないものとなるでしょう。